

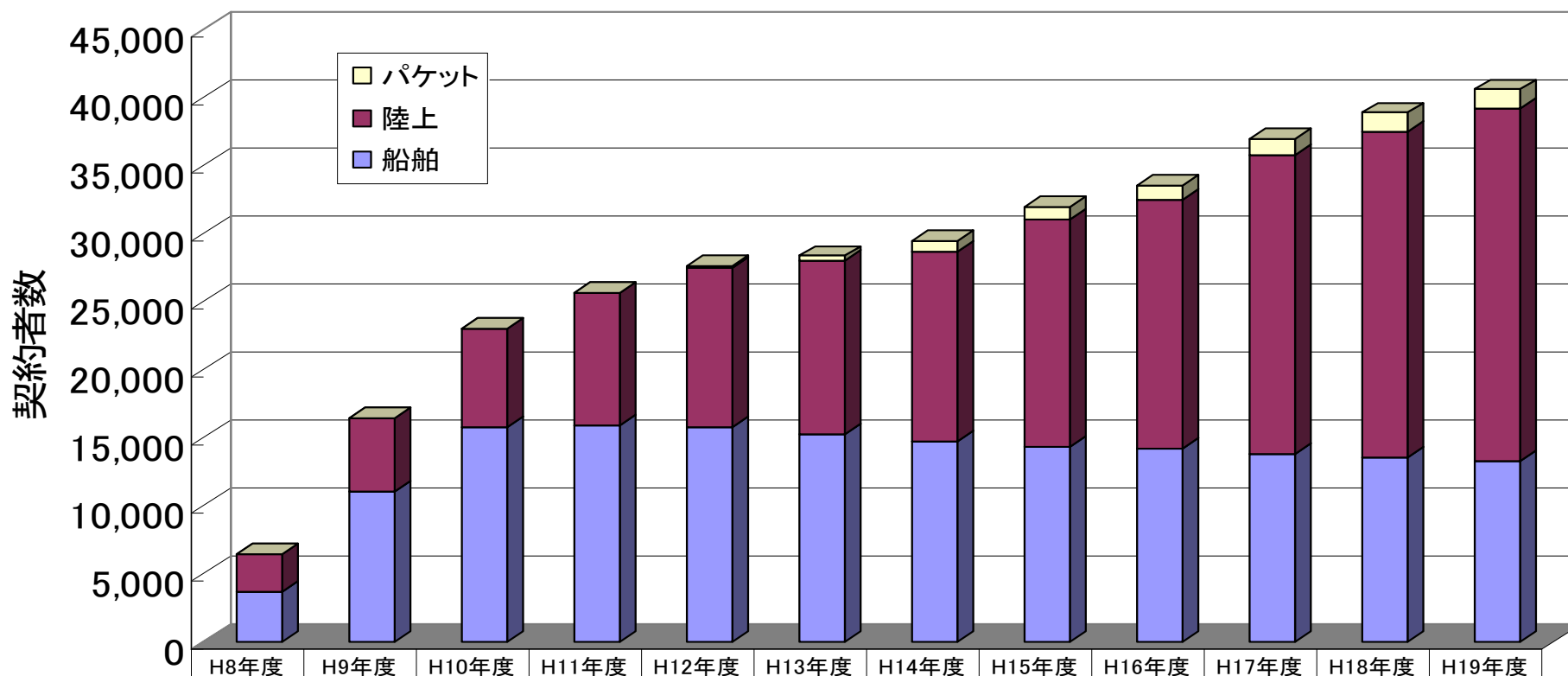
Sバンドを用いる国内移動体衛星通信 システムの需要予測

平成 20 年 8 月 29 日
株式会社 NTTドコモ

1. N-STAR加入者数の推移

- (1) 陸上は災害対策を中心に増加傾向
- (2) 船舶は船腹調整等の影響で微減傾向
- (3) パケットは料金・速度に対する不満はあるが微増傾向

衛星契約者数の推移



2. 現行システムにおけるお客様の声

データ通信の需要は大きいので、データ通信の高速化と料金の低廉化により、お客様のご要望に答える

陸上

荷台内画像を本社へ伝送させたい(運送業)

速度

料金

山間部工事時に画像を伝送したい(建設)

速度

料金

単線の位置管理をしたい(鉄道)

料金

盗難防止のためコンテナ車の管理をしたい(運送業)

料金

スクープ画像・映像を現場から本社へ伝送したい(報道)

速度

料金

画像伝送するテレメトリシステムを構築したいので
上り最低64kbps欲しい(SIメーカー)

速度

船舶

不審船の監視で画像伝送をしたい(巡視船)

速度

航行管理に積極的に導入したい(内航船)

速度

料金

配送計画・手配をメール・システム化したい(内航船)

速度

料金

漁獲高の向上のため、海水温・気象情報をインターネットで入手したい(漁船)

速度

料金

コンテナの位置管理及びコンテナ内の温度管理をしたい(製造)

料金

船のエンジンを監視し、乗組員を削減したい(客船・作業船)

速度

料金

乗客にインターネットカフェを提供したい(客船)

速度

料金

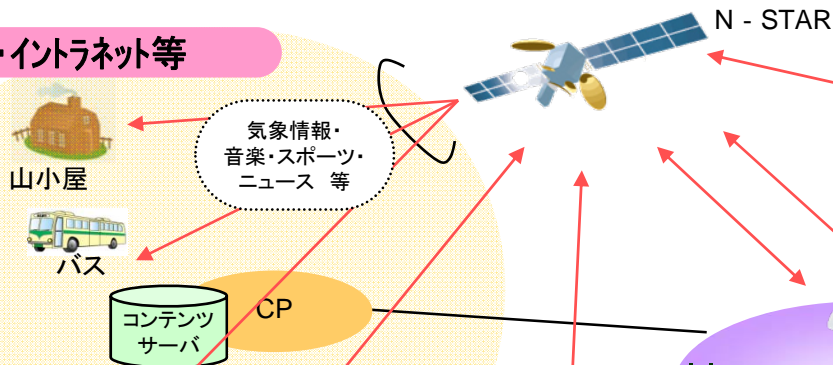
- 速度が遅い(*)ため、導入判断を見送っている
- 導入したいが、料金が高いのがネック

* :パケットは上り4.8kbps/下り64kbps であるが、前項より明らかなように、
①上り方向の用途が多く下り64kbpsのメリットが活かせないこと。
②パケットはベストエフォートであり必ずしも高速とは限らないことによる。

3. 今後期待される陸上サービスイメージ

インターネット・イントラネット等

災害地・山小屋・長距離バス等に向け、低料金での多彩な情報配信。高速化に伴うインターネット・イントラネット利便性向上による契約数拡大。



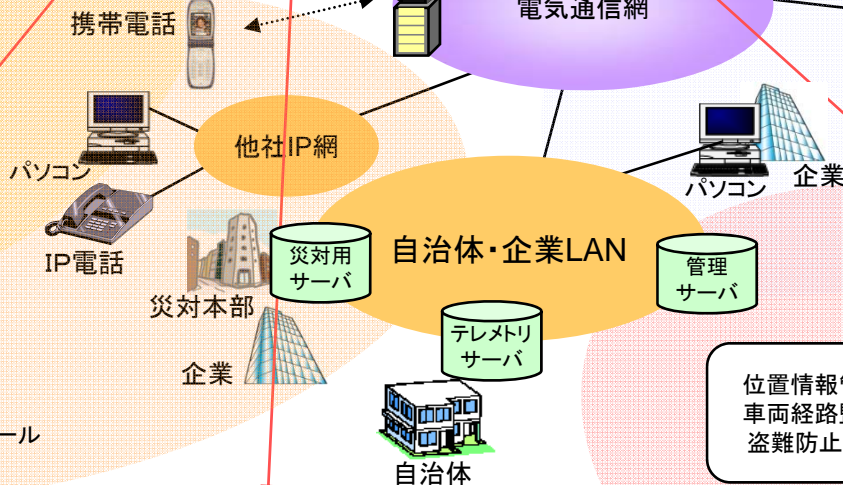
画像・動画伝送

地上波のエリア外においても、診断データ伝送により早期治療を可能とするため、高いニーズが見込まれる。



災害対策

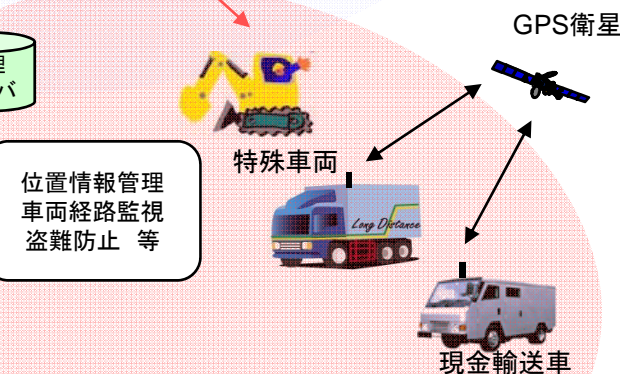
高速化・低料金化により、パケット通信においてもメール等データ通信の新たなニーズを開拓できる。



自動販売機における在庫情報・温度情報及び危険箇所監視情報等豊富なテレメトリへ展開。



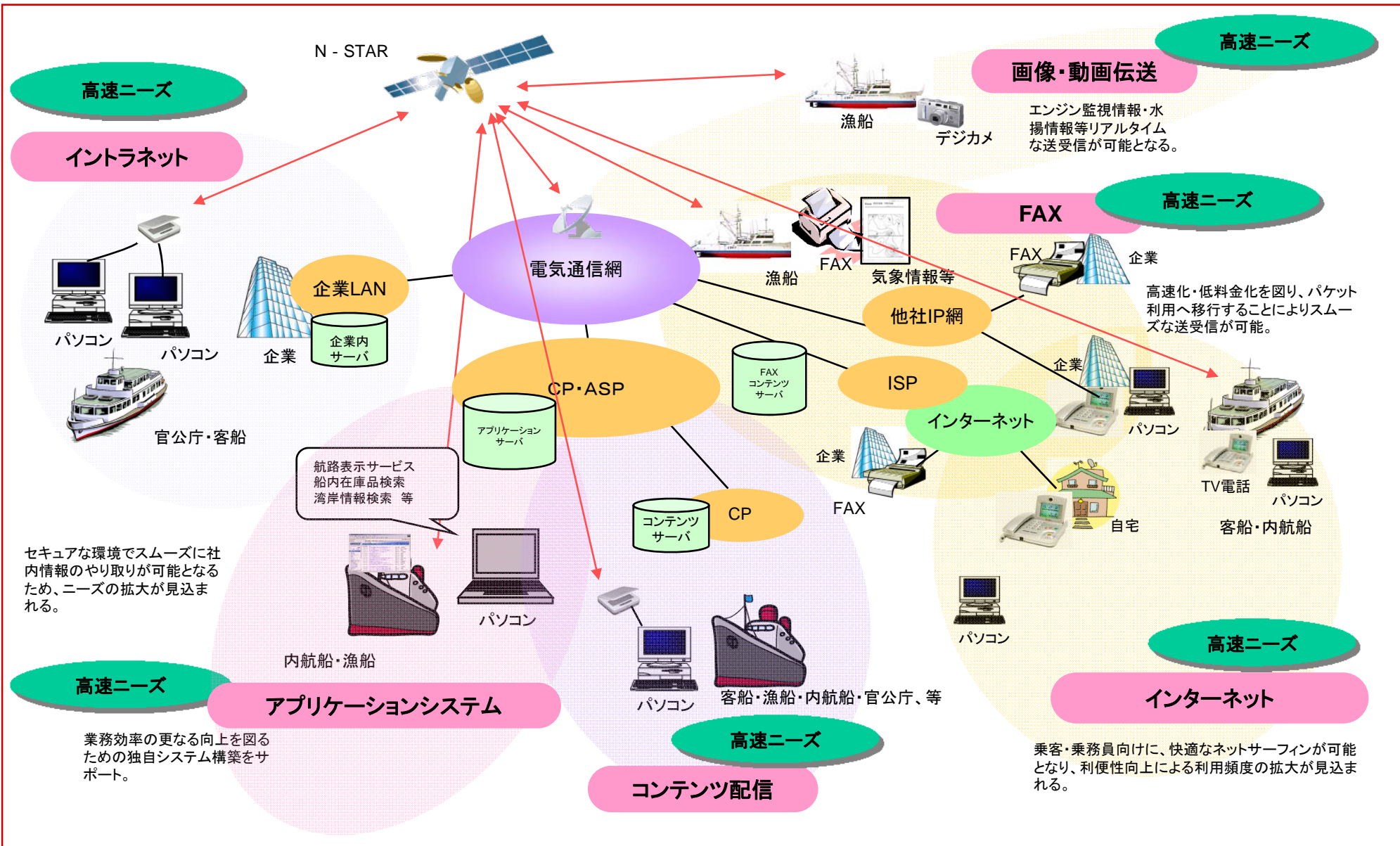
テレメトリ



車輦管理

エリアに捕らわれず車両位置管理等ができる。更に、大容量データの送受信が可能となる。

4. 今後期待される船舶サービスイメージ



5. 今後の展開構想(需要予測)

項目		平成19年度末契約数	平成30年度末契約数
音声	船舶	13,300	14,000
	陸上	25,900	49,000
パケット	船舶	1,000	5,000(再掲*)
	陸上	300	12,000(再掲*)
合計		40,500	63,000

*: 音声契約の内、パケットをご利用頂く数。改良システムにおいてはパケット単独サービスは予定無し。